

ナンバリング		科目名		サブタイトル		担当教員		配当年学期		単位数	
122AC17		未来デザイン		自信とコミュニケーション力を育む 成功の技術		松井 英幸		1年次後期		2	
科目区分		基礎		キーワード		自己肯定感、成功の哲学、目標達成、自己変革、選択理論、ベップトーク、 コーチング、コミュニケーション					
ディプロマポリシーとの対応				1. 時代や社会の要請に対応できる能力							
カリキュラムポリシーとの対応				1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力を総合的に身につける							
事前に受講するとよい科目				特になし							
オフィスアワー				授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。							
教員への連絡方法				教員の短大メールアドレス							
講義の目的		本講義は、学生の自己肯定感を高め、「自分にはできる力がある」という実感を持てるようになることを目的とする。そのために、成功のマスタースキルを基盤とし、コーチング、コミュニケーションスキルを活用しながら、成功体験を積み重ねる実践的な学習を行う。また、自己変革の重要性を理解し、前向きな行動を促すために、書籍『変わる勇気』を講義の教材として用い、学生が自身の成長プロセスを深く考察できるよう支援する。									
到達目標		本講義では、マスタースキル、コーチングツール、コミュニケーションスキル、および書籍『変わる勇気』を活用し、学生が自己肯定感を高めながら、コミュニケーション力と目標達成のスキルを身につけることを目的とします。本講義を通じて、以下の5つの目標を達成することを目指します。 1.自己理解と自己肯定感の向上 2.成功体験の積み重ねと行動力の向上 3.コーチングスキルとポジティブな対話の習得 4.チー									
講義内容		本講義は、マスタースキルプログラムをもとに、5つのフェーズに分けて学習を進めます。各フェーズでは、コーチングツール、コミュニケーションカード、『変わる勇気』を適切に活用し、学生が実践的なスキルを身につけられるよう設計されています。 フェーズ1: 自己理解とマインドセットの確立（第1講～第4講） フェーズ2: 小さな成功体験とポジティブ思考の習得（第5講～第7講） フェーズ3: コミュニケーションと対話スキルの向上（第8講～第10講） フェーズ4: 目標達成プロセスの実践（第11講～第13講） フェーズ5: 成果発表と今後の成長計画（第14講～第15講）									
講義スケジュール		タイトル		内容							
		第1講		自己肯定感とは 自己肯定感の重要性を学び、今の自分を知る							
		第2講		成功の技術の基本 成功者の思考を学ぶ							
		第3講		目標達成の技術 小さなゴールを設定							
		第4講		変わる勇気を持つ レジリエンスと変化への抵抗をなくす							
		第5講		小さな成功体験を積む 「成功体験ノート」をつけ、自信を高める							
		第6講		思考を変えれば未来が変わる ポジティブな思考習慣を学ぶ							
		第7講		言葉の力とベップトーク コーチングを活用し、自分を励ます言葉の使い方を学ぶ							
		第8講		コミュニケーションカード 自分の個性を知り、相手に伝えるトレーニング							
		第9講		コミュニケーションカード 他者との相互理解を深めるワーク							
		第10講		コーチングを活用した対話 相手の話を引き出す「質問力」を高める							
		第11講		実践ワークショップ 目標を持ち、それに向かって行動する							
		第12講		実践ワークショップ 自分の成長を振り返り、フィードバックをもらう							
		第13講		未来を切り拓く力 目標達成のプロセスを実際に体験する							
		第14講		プレゼンテーションスキル 自分の成長を発表し、成功体験を深める							
第15講		まとめと今後のアクションプラン これからの人生にどう活かすかを決める									
指導方法				ワークショップ形式を中心としたアクティブラーニングを実施する							
事前学習				授業前の事前学習として、各回のテキスト該当ページを一読し、未習の用語等について明らかにし、課題をもって授業に臨むことが必要である。1時間30分程度の学習時間が目安である。							
事後学習				授業後の事後学習として、授業時に学習した以外の事例について参考文献を調べ、自分で考察をまとめることにより、授業で学んだ知識が定着し、理解を深めることができる。1時間30分程度の学習時間が目安である。							
成績評価方法				・出席・参加度（50%） ・課題・レポート（30%） ・期末プレゼンテーション（20%）							
課題（試験・レポート）に対する フィードバックの方法				・コーチングを通じて個別フィードバックを実施 ・成果よりも「挑戦したこと」を評価し、成功体験を促進							
テキスト				なし							
参考文献				『成功の哲学』『目標達成の技術』『選択理論：幸せの心理学』『ピークパフォーマンスのためのベップトーク』『変わる勇気』『リーダーは“変わる勇気”を持つ人』——これは今後の人生にも通じる考え方です。ラグビー指導者としての挫折を経て、選手の自主性を尊重する指導法へ転換。社会でも、安全や接客、チームワークの向上には柔軟なリーダーシップが不可欠です。本書籍では、「変化に適応する力」を学び、未来の社会人としてのプロフェッショナルとしての視点を養います。							
実務家教員による授業				教員経歴							
特記事項				なし							